

1. 6月植え「あきさかり」の収穫適期予想

2. 「ヒノヒカリ」「おいでまい」の出穂後の病害虫防除

令和7年9月
東 讀 農 業 改 良 普 及 セ ン タ ー
東 讀 農 業 改 良 普 及 協 議 会

あきさかり 高温の影響で、収穫適期は平年よりも3~7日程度早くなり、適期幅も短くなる予想です。

田植時期ごとの収穫期の予想(9月1日現在)

田植日	出穂期		収穫期(予想)	
	栽培しおり(平年)	本年産	栽培しおり(平年)	本年産
6月1日	8月7日	8月5日頃	9月11~15日	9月8~9日頃
6月10日	8月13日	8月10日頃	9月18~21日	9月13~14日頃
6月15日	8月16日	8月13日頃	9月21~25日	9月17日頃
6月20日	8月19日	8月16日頃	9月24~28日	9月20~21日頃

- ・収穫期は、出穂後の積算気温などから予想。
- ・予想した収穫期が近づいたら、実際の稲の籾の黄変率や立毛の籾水分を確認して、適期収穫に努めましょう。

「あきさかり」の収穫適期を判定する3つのポイント

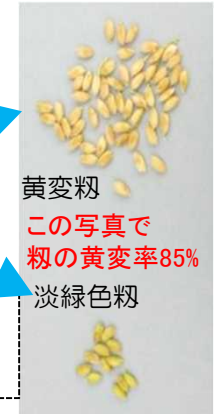
① 出穂期以降の日数(1日の平均気温の積算温度)

⇒ 37~40日(1,000~1,050℃)

② 籾の黄変率 ⇒ 85~90%



白い紙の上に
広げて見る



黄変籾

この写真で
籾の黄変率85%

淡緑色籾

畦から2m程度入った所で、中庸な株の最長稈の穂をすごき、黄変籾と淡緑色籾に分け、籾数を数える(不稔籾は除く)。
黄変籾数 ÷ (黄変籾数 + 淡緑色籾数) × 100 = 籾の黄変率(%)

③ 立毛の籾の水分(目安) ⇒ 25%程度(穀粒水分計で測定)

ヒノヒカリ・おいでまい

9月は、**カメムシ類、ウンカ類の発生に注意!!**
出穂後に次のいずれかで必ず防除をしましょう。

対象病害虫	防除時期	使用薬剤 散布量/10a	使用期限/回数
カメムシ類・ ウンカ類	出穂7~10日後	スタークル粒剤 3kg	収穫 7日前まで /3回以内
		スタークル豆つぶ 250g	
	出穂 10~14日後	スタークル顆粒水溶剤 2,000倍・100ℓ	

ほ場の外から見えなくても、
稲の中に潜んでいることも!

イネカメムシ



ビロウウカ短翅型雌



そのままにしている落ち穂やひこばえ
イノシヤサルの餌になってる!?

稲の収穫後、落ち穂やひこばえをそのままにしていると、イノシヤサルが食べに来るようになります。
餌場として認識されてしまうと、稲の収穫前にもやってきて、稲に大きな被害が出るようになってしまいます。
稲の収穫が終わったら、早めにすき込みましょう!



ご不明な点等がありましたら、東 讀 農 業 改 良 普 及 セ ン タ ー (TEL:0879-42-0190) まで、おたずねください。